

令和二年度 各部活動部長たちの想い

本年度は、コロナウイルスの影響により三年生にとつての集大成となる大会が中止となり、変化と困難に立ち向かう年となりました。引退する三年生を中心に部活動への熱い想いをご紹介します。

サッカー部

普通科三年 部長◆平 勇弥斗



サッカー部は、保護者の方々や地域の方々、顧問の先生方の支えがあったお陰でサッカーをすることができていました。本当にありがとうございました。

三年生のみならず、試合で思うような結果を出すことができませんでしたが、自分を成長させることができ、良い経験になりました。後輩のみんなとのサッカーはすごく楽しかったです。ありがとうございました。これから仲間とサッカーができることに感謝し、目標に向かって頑張ってください。

野球部

普通科三年 部長◆牧口 博



私たち三年生は、二人という少ない人数で三年間野球部として頑張ってきました。また、部全体としても人数も少なく苦労する面もありましたが、最後の夏に向けて練習に励んでいました。そんな中、新型コロナウイルスの影響による甲子園の中止が発表されました。私たちには甲子園地方予選の代替大会として地区大会が開催されます。顧問の先生方、保護者、地域の方々、大会関係者への感謝の気持ちを忘れずに悔いの残らないよう全力でプレーします。

バスケットボール部

普通科三年 部長◆中島 志菜



今回、コロナウイルスの影響により、最後の総体が中止となってしまいました。これまでの部活動を通して目標に向かって仲間とコミュニケーションをとりながら努力することや自主性など、多くのことを学ぶことができました。また、これまで支え続けてくれた保護者の皆様、顧問の先生方や地域の方々への感謝の気持ちを忘れず、学んだことを卒業してからもそれぞれの場所で活かしていきたいと思っています。

女子バレーボール部

普通科三年 部長◆賀 美羽



この一年、部員二人という状況で練習に励み、試合に出場する機会は少なかったですが、多くの先生方、保護者の応援を感じていました。

部活動の後輩たちや多くの関係者のおかげで、私はバレー部に最後まで所属し、継続してやり通すことができました。後輩たちには、周囲への感謝を忘れずに喜高の部活動を活性化させていくことを目指します。今年、私たち三年生は、後輩たちの頑張りを応援しながら、それぞれの進路実現を目指します。

バドミントン部

普通科三年 部長◆大山 花菜



これまで支えてくださった保護者・地域のみならず、顧問の先生方、本当にありがとうございました。三年生にとつて最後の県総体がなくなつたのは、残念ですが、高校生活での部活動はとても充実していました。地区総体では、団体戦優勝という結果を残すことができ、良い思い出を作ることができました。これからは自分たちの進路実現に向けてそれぞれ頑張ります。

後輩の皆さんも目標をしっかり持って日々の練習に一生懸命取り組んでください。応援しています。

女子ソフトテニス部

普通科三年 部長◆盛 友愛



女子ソフトテニス部は、新一年生が入部するまで一人で活動していました。寂しいときもありましたが、たくさんの方々に支えられ頑張ることができました。熱心に教えてくださった先生方、一緒に試合をしてくださった一般の方々、いつも応援してくださった両親、感謝の気持ちでいっぱいです。

後輩が十人も入部してくれて、喜界高校として大会に出場できなかったことは残念でしたが、これからかわいいう後輩たちが盛り上げてくれることを信じているので、応援しています。みんな、頑張れー！

男子ソフトテニス部

普通科三年 部長◆龍元 和樹



私たち男子ソフトテニス部は、一年生が入部するまで三年生三人で活動していました。しかし、この少ない人数ながらも地域の方や顧問の先生方、保護者の方に支えられながら頑張ってきました。

一年生とは短い期間でしたが、身になる練習ができて良かったです。一年生と一緒に参加できる大会に出場できなくなってしまうのは、とても残念です。これからは自分たちのことを支えてくださっている方々に感謝しながら県大会で活躍ができるように日々頑張ってください。

弓道部

普通科二年 部長◆吉永 萌音



私たち弓道部は、顧問の先生方や一般の方のご指導の下活動しています。保護者や先生方の協力があるからこそ活動ができていることに感謝したいと思います。

そして、感謝の気持ちを忘れずに勉強と部活動の両立を目標に掲げて主体的に活動していきたいです。

吹奏楽部

普通科三年 部長◆伊地知 奈々



私たち吹奏楽部は、様々な面で島内外の方からのサポートをいただき県吹奏楽コンクールに向けて練習に取り組んでいました。今回、コロナウイルスの影響により中止となってしまいましたが、これまで応援し支えてくださった方々に残りの引退までの活動を通して、感謝の思いを伝えていきたいと思っています。また、部活動で学んだことをこれから社会に出ていく上で役立てていきたいです。最後になりましたが、応援して下さった全ての皆様、本当にありがとうございました。

美術部

普通科二年 部長◆若松 すみれ



私たち美術部は高校美術展に向けて制作と学校行事の看板制作を今年も頑張りたいです。コロナウイルスの影響により制作の遅れはあるものの、現在は、それぞれ自分の制作を進めることができています。全員が入選できるように頑張ります。満足のいく作品を描きたいと思います。また、学校行事の看板制作も生徒や先生の士気を高めることができるよう、昨年度よりも良い看板の制作に努めていきたいです。

コンピュータ部

商業科三年 部長◆市川 竜



高校三年間を振り返ってみると、本当にいろいろなことがあったと思います。掛け持ちながら、見に来てくださる先生方、ありがとうございました。

後輩とは二週間と少しの間、一緒に活動してきた、正直、成長していく姿を見て良かったです。しかし、日々の練習で得た力をこれからの資格取得や進路に向けて頑張ってください。



喜界高だより

校訓
自主自立
開拓創造
公德奉仕

鹿児島県立喜界高等学校

電話 (0997) 65-0024

〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連 2536 FAX (0997) 65-0217

ホームページアドレス <http://www.edu.pref.kagoshima.jp/sh/kikai>

No.114



「涵之如海 養之如春」 喜界島の魅力の発信と 課題解決に向けて

校長 田嶋 吾富

作家の井上靖さんは座右の銘としてよく色紙に「養之如春」と好んで書かれていたそうです。

この言葉は、班固（中国後漢の歴史家）が編纂した「漢書」の叙伝に記した言葉で、「涵之如海 養之如春」とあり、「之を涵すること海のごとし

之を養ふこと春のごとし」と読みます。意味は、「万事、焦ることはない。学問や見識の習得は海のように広い文化的教養にたつぷりと涵ませ、春の光が万物を育てるように焦らずゆつくりやれば、いつか事はなる」といったところだそうです。

六月も半ばを過ぎ、喜界島の梅雨明けはまだ宣言されていませんが、雲の切れ間から照りつける強い太陽の日差しは、海の青さを輝かせ、季節はいつもどおりの夏へと移りつつあります。一方で、新型コロナウイルス感染症対策に伴う様々な規制は緩和されつつあるものの、コロナ禍における「新しい生活様式」の導入は、喜界島においてもこれまでとは少し異なる様相を呈した夏の訪れも予感させています。

休校措置が続いた教育現場においては、夏休みも返上して授業を行う学校がほとんどです。できるだけ早く、これまでの遅れを取り戻したいところですが、冒頭の言葉の通り、子供たちには、海や春の陽光のような教養にたつぷりと涵し、育てていくのがいいのかもしれない。

今回の新型コロナウイルス感染症対策による学校の休業措置を通して、ICTの普及と活用、そして、家庭学習の大切さ、さらには、社会に開かれた学校として、地域と連携して教育活動を展開していくことの大切さを学んだ気がします。

私たちの周りを見渡すと自然や文化・歴史などの資源やあらゆる分野の人材に溢れる島だと改めて気づきます。この環境に子供たちをたつぷりと涵し、様々な体験を通して育んでいくことが今こそ求められているのではないのでしょうか。

「郷土を愛し自ら人生を切り拓くグローバルリーダー」とは、昨年、創立七〇周年を経て、今年度の次の百年への新たな一歩として、本校が掲げた育てたい生徒像です。

社会に開かれた学校として、これまでの中高一貫校としての取り組みを生かしながら地域の産・学・公・民を結ぶコンソーシアムの構築を目指し、地域と連携した教育活動を展開していきます。

新学習指導要領のもと、「総合的な学習の時間」は、その名称を「総合的な探究の時間」と変更し、すでに移行期間として昨年度から先行実施されています。本校においても「がじゅまる」の時間として生徒たちが地域の課題を発見し、課題研究などの探究活動を通して周りの仲間と協働し対話を重ねながら解決策を見出していく取り組みが始まっています。

本校のグランドデザイン（二面掲載）には、学年ごとに生徒たちが高みを目指すイメージで、隆起する珊瑚礁が描かれ、さらに全体図はガジュマルの木根を皆さんの知的好奇心の広がりとし、重なる木根が地域社会とつながって協働しながら支え合っているイメージを表しています。

「変化の時代」といわれる今、新型コロナウイルスの感染拡大は世界中を混乱の渦へと巻き込み、まだまだ収束の目途が立たない状況にあります。このような時代において周りに流されることなく、自らが主体となって変化を起こしていける存在となつて持続可能な社会を、そしてこの喜界島の魅力の発信と課題解決に向けて邁進していくことを期待しています。生徒の皆さんが、自ら動き、新たな人との出会いを通して真摯に取り組む様子は、きつと我々教職員だけでなく、地域の皆さんに対しても、ワクワク感と喜界島の未来への手応えを感じさせてくれると確信しています。

ごあいさつ



PTA会長
徹島 一秀

梅雨明けが待ち遠しい六月初旬、私はPTA会長寄稿文の締め切りに迫られ奮闘しているところです。むしろとした日がつづいていますがみなさんいかがお過ごしでしょうか。

令和二年度も二か月を過ぎましたが、新型コロナウイルス感染症により国の緊急事態宣言があり、学校生活が一月遅れのスタートとなりました。学校行事やクラブ活動の制限のなか、生徒をはじめ先生方や保護者の方々も初めてのことで戸惑うことも多々あったのではないのでしょうか。三年生にとって今年まで頑張ってきた部活動最後の大会が中止になったりと、とても残念でなりません。二年生や一年生にとっても、現在の自分の実力を確かめる大事な大会だったと思います。

さて、六月に入り国の緊急事態宣言も解除となり色々な分野での制限緩和となつておりますが、一人一人が今まで通りにコロナ対策を行い、喜界島にコロナを持ち込まない、持ち込まないようにはしていけたら幸いです。

令和二年度は、生徒並びに先生方にとつては大変なスタートになりました。特に三年生にとつては進学や就職活動において大事な時期になりますが、私たち保護者が子どものために何をすればいいのか、喜界高校のためにどうするべきかを先生方と共に考えよう。子どもたちの未来の為に頑張っていきたいです。

現在PTA活動においても、コロナ対策により行事の中止や自粛で保護者のみなさまと直接顔を合わせる機会もなく現在に至りますが、これからはPTA活動及び学校行事等を保護者のみなさまをはじめ、先生方や生徒を交えて行っていくことを願っています。

中高一貫教育の取り組み

今年度は新型コロナウイルスによる感染拡大防止の観点から、四月に予定していた中高合同職員会議は実施できませんでしたが、校種を越えた連携をスムーズに行えるよう各教科で教科部会を設定し、中高の教職員が顔を合わせ、六カ年の教育実践に取り組むための話し合いや今年度の中高一貫事業の確認を行いました。

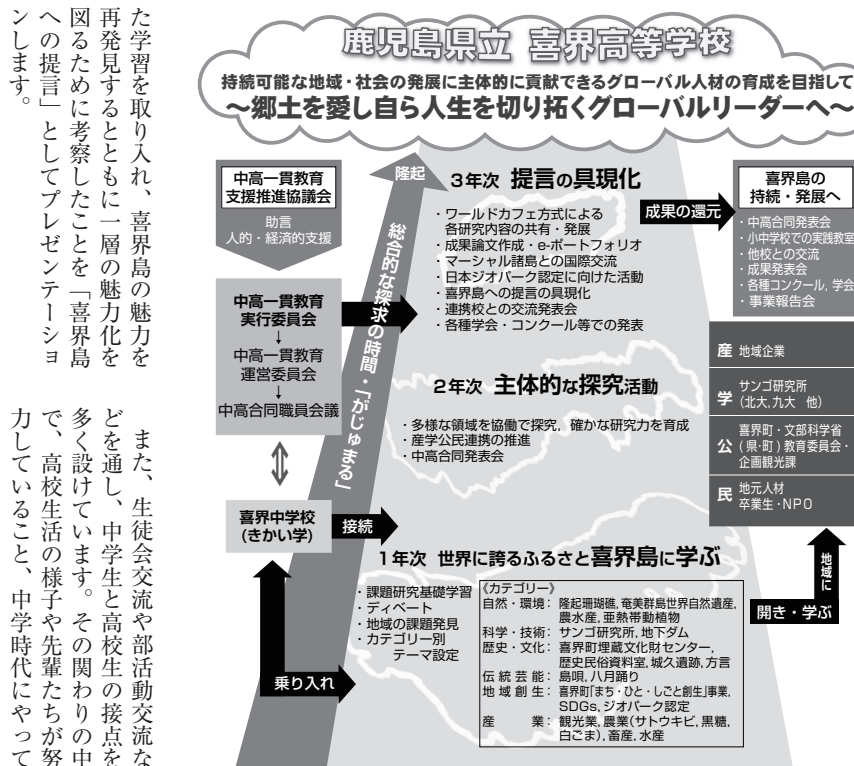
平成一五年度より中高一貫教育が本格実施され、一七年度を迎えます。本校グラウンドデザイン（下図）にもありますように、変化の激しい時代に対応し、持続可能な地域・社会の発展に主体的に貢献できる人材の育成を目指し、今年度もより質の高い教育実践ができるよう中高の教職員が協力しながら取り組んでまいります。

中高一貫教育ならではの企画として、中高合同講演会や三年に一回実施される中高合同芸術鑑賞会（今年度実施予定）、中高合同発表会があります。中高合同発表会では、中学校での「きかい学（総合的な学習の時間）」の学びの接続として「がじゅまる（総合的な探究の時間）」を活用し地域の特色や資源を題材とし

令和2年度 中高一貫教育関係行事（案）			内 容
4	17	金	中高一貫教育運営委員会
	21	火	第1回合同職員会議・合同部会・情報交換会
5	28	木	中高一貫教育運営委員会
	30	土	第1回英語検定（一次）合同実施
6	13	土	第1回漢字検定合同実施
	21	日	全商珠算・電卓実務検定
	28	日	全商簿記実務検定
	28	日	第1回英語検定（二次）合同実施
	29	月	高校説明会（喜界中職員向け）
7	1	水	高校説明会
	5	日	全商ビジネス文書実務検定
	21	火	喜界地域中高一貫教育支援推進協議会
8	25	火	中学生1日体験入学
	25	火	中高生徒会交流会
	27	日	全商情報処理検定
10	3	土	第2回英語検定（一次）合同実施
	31	土	第2回漢字検定合同実施
11	8	日	第2回英語検定（二次）合同実施
	8	日	全商珠算・電卓実務検定
	22	日	全商ビジネス文書実務検定
	26	木	中高一貫教育運営委員会
未定			中学校への入試説明会
12	1	火	第2回合同職員会議
	9	水	中高合同発表会・芸術鑑賞会
	20	日	全商英語検定
1	12	火	高校生による合格体験発表
	23	土	第3回英語検定（一次）合同実施
	24	日	全商簿記実務検定
	26	火	中高一貫教育運営委員会
	30	土	第3回漢字検定合同実施
	31	日	全商情報処理検定
2	7	日	全商商業経済検定
	4	木	中高一貫入学者選抜面接・作文
	16	火	第3回合同職員会議・合同部会
	21	日	第3回英語検定（二次）合同実施

鹿児島県立 喜界高等学校

持続可能な地域・社会の発展に主体的に貢献できるグローバル人材の育成を目指して
～郷土を愛し自ら人生を切り拓くグローバルリーダーへ～



た学習を取り入れ、喜界島の魅力を再発見するとともに一層の魅力化を図るために考察したことを「喜界島への提言」としてプレゼンテーションします。

また、生徒会交流や部活動交流などを通し、中学生と高校生の接点を多く設けています。その関わりの中で、高校生活の様子や先輩たちが努力していること、中学時代にやって



生徒総会

五月二〇日（水）に行われた生徒総会は、喜界高校史上初のオンラインでの実施となりました。「コロナウイルスの感染拡大防止のため、三密は避けた」といし、「全校生徒でよい学校にするために何が出来るか考えることが出来る一年に一度の機会。ぜひ実施したい」という生徒会執行部の想いのもと、Web会議システム「Zoom」を利用した生徒総会が実現しました。十分に間隔を空けた机が並ぶ各教室と総会本部とを結んだ画面上でのやり取り

においてよかったと思うこと、やっておけばよかったと後悔していることなどを生きた言葉として後輩へ伝えていきます。この生徒同士の交流もまた、中高一貫教育の良さです。

中高の教職員同士では、高校教職員が中学生を、中学校教職員が高校生を教えるという「乗り入れ授業」を行います。さらに、学力向上のための取り組みとして、高校・中学校のそれぞれのテストの結果・分析を中高間で共有することで、中高で連携した指導体制・指導方法の深化を図っていきます。

これから喜界高校へ進学する中学生に対し、夢と希望を持って高校生を送り、進路実現を果たしてほしいという思いを中高の全教職員がもっています。中高一貫教育をよりよくしていくために地域との連携も密接にしなが「学校」「家庭」「地域」「行政」が一体となり、子どもたちが「夢を実現できる確かな成果」が得られるよう進めていきたいです。今後とも「喜界地域連携型中高一貫教育」に対するご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

は、懸念していた機材トラブルもほとんどなく、スムーズに進行していききました。むしろ、討議に関しては、ここ数年で一番活発だったのではないかと思います。執行部からは「よい一貫喜界高校にするには、生徒一人一人が自覚を持ち、協力することが必要」というまとめで、そのために「環境マナーを徹底する」「あいさつを活発にする」「学校の秩序を保つ」という具体策が出されました。初めての試みであったため、いつもと違う会場やマニュアル作成、制限時間がある中での進行、必要機材の調達・作成等、執行部を中心にして、多くの時間と労力をかけて試行錯誤しながら、無事にやり遂げることが出来ました。「前例のないことに挑戦する」「一から何かを創り上げる」ということの大変さを肌で感じながらも、終了後には大きな達成感を得られたようで、満開の笑顔を見ることが出来ました。これから新しい取り組みや様々な事に挑戦し、協働出来る喜界生でいてほしいです。



「学科朝礼」

「各学科の朝礼の様子を紹介します！」

普通科学科朝礼

六月十五日(月)に行われた今年度第一回目の学科朝礼では、「先読み力」と「計画性」について話をしました。科学技術の発展と情報化により急激に変わりゆく社会環境の中においても、未来を見据えて自分の生き方を考え、進路や職業を考えるためには「先を読む力」が必要となります。また、読んだ先に立てた目標を達成するためには、綿密な計画を立てて実践していくことも大切です。どちらも習得するのは大人にも難しいですが、社会に出てから重宝される力でもあります。また、これらは自然と身に付くものではなく、習得には意識的な訓練が必要でもあります。まずは、毎回の授業を漫然と受けるのではなく、「この後、どのような発問をされるだろうか。」と先読みしながら考えて受けること、一〇日後に控えた期末考査に向けて学習計画を立てて、実践し、修正する経験をするこの二つから始めてほしいと話をしました。もちろん初めは難しいでしょうが、将来だけでなく、



三年生にとっては能率の良い受験勉強にも繋がることです。朝礼中、絶え間なく顔を上げて話を聞く普通科全員の真剣な眼差しが、これからのさらなる成長に繋がってくれることを期待しています。

商業科学科朝礼

元氣よく気持ちの良い挨拶で始めることができました。

商業科は人づくりと言われます。喜高生の良いところである人間性をさらに磨くために必要なこととして、「商業科の目標」と「ビジネスマナー」「勉強と資格取得」についての話をしました。

商業科では、商業の各分野(ビジネス)に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させることから始まり、経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てることを目標としていることを確認しました。

ビジネスマナーの基本である身だしなみや挨拶については、服装の着こなしや授業開始時の「椅子を入れる」「語先語礼」といった基本的なことをしっかりとできるようにしてほしいと伝えました。

また、近年、「知識・技術」を習得



したことの証明でもある検定取得力を入れていきます。初級レベルである三級を確実に取得し、さらに二級・一級と上級資格取得を目指し、目標を高く持つように話をしました。三種目一級合格者を目指すことや全種目三級以上取得することなどそれぞれの目標に合わせて、努力してくれることを期待しています。

そして、進路選択を前にして、三年生が感じていることを伝えるべく三年生に質問を行い、挙手させました。質問は「もっと勉強しておけば良かった」「もっと上級の資格を取得しておけば良かった」の二問です。ほとんどの生徒が手を上げ、評定値や資格取得が進路選択に影響していることを一・二年生にも感じてもらい、後悔しないためにも、検定に対して前向きに取り組めるように日頃の学習を大切にしてほしいです。

統一LHR(いじめ問題)

五月二七日(水) いじめ問題を考える週間の取組として、統一LHRを実施しました。「いじめ」の喜界高校を目指し、他人との関わり方を見つめなおす」というテーマで、これからの行動について考えました。

思いやりがあり、素直で明るい喜界高校生ですが、その一方で、冷やかしかからかいかいとも受け取れるような言動や悪ふざけが過ぎる場面もあります。たとえば、自分自身がされたり、言われたりしても平気なことであっても、相手がどう受け取るのかは一人ひとり違うということを理解しました。

授業の後半で、今後の生活に生かすための『いじめ防止行動宣言』を作成しました。準備が整い次第、学級に掲示される予定です。私たち喜界高校生は、いじめのゼロを目指します。

グローアップウィーク

六月八日から十二日にかけてグローアップウィーク(相互授業参観週間)が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、例年よりも規模を縮小して行われましたが、多くの教育機関関係者に来校していただけたことに感謝申し上げます。職員も教科や学科の枠を越えて、お互いの授業を参観し、様々な工夫をしながら授業を行う術について学ぶことができました。生徒たちは普段とは違う緊張感を感じながらも、熱心に授業に取り組んでいました。今後とも、多くの方々から信頼される学校作りを行ってまいります。



るよう努力してまいります。第二回は十一月に実施する予定です。多くの皆様のご来校をお待ちしております。

かごしま応援寄附金「ふるさと母校応援プロジェクト」

「ふるさと母校応援寄附金」

一、かごしま応援寄附金

「ふるさと母校応援プロジェクト」

・ふるさと納税制度を活用し、「母校や鹿児島県の頑張っている学校の取組を応援したい」、「学校の教育環境整備に役立ててほしい」という方から、県立の高等学校や特別支援学校を指定して寄附を行うことができます。仕組みです。

・一千元を超える寄附をされると、課税所得額などに応じて、住民税等の軽減を受けることができます。(税控除を受けるには、確定申告が、ワンストップ特例制度のご利用が必要です。)

・県からの寄附者情報に基づき学校から「お礼状」と「喜高だより」等をお送りします。

二、寄附の流れと活用方法

本校の特色ある取組

寄附者

寄附

喜界高等学校

寄附の活用

グローバル人材育成事業
校外(島外)における各種コンクール・大会・ボランティア、海外留学などに係る経費
進路支援事業
各種講演会やセミナー等における講師派遣に係る経費
学習環境支援事業
生徒用タブレットや遠隔授業を可能にする通信環境の整備に伴う経費

インターネット
(ふるさとチョイス)

ふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」からお申し込みいただけます。(クレジットカードによりお支払いを希望される場合は、ふるさとチョイスからお申し込みください。)

「ふるさと母校応援プロジェクト」をクリックして進めください。



県庁・県外事務所

・お近くの鹿児島県事務所へお問い合わせください。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| ☐ 県庁財産活用対策室
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号
行政庁舎 5 階 | TEL 099-286-2169
FAX 099-286-5572 |
| ☐ 県東京事務所ふるさと交流課(主に関東以北を担当)
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3
都道府県会館 12 階 | TEL 03-5212-9060
FAX 03-5212-9061 |
| ☐ 県大阪事務所ふるさと交流課(主に関西・中京地区を担当)
〒530-0001 大阪市北区梅田一丁目 3-1-900
大阪駅前第1ビル 9 階 11 号 | TEL 06-6341-5618
FAX 06-6341-7210 |
| ☐ 県福岡事務所(主に九州・中国地区を担当)
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街 8 番 20 号
第二博多相互ビル 5 階 501 号 | TEL 092-441-2852
FAX 092-441-2863 |

※土日祝日および年末年始(12/29～1/3)は業務を行っておりませんのでご注意ください。

三、申し込み方法